

SEED (シード)

Vol.001
2022.6月

駒澤大学では、2022（令和4）年度より「駒大生社会連携プロジェクト」として、本学における社会連携・地域貢献にかかわる様々な活動への支援を目的とした学内公募型の助成を行うことといたしました。

これは、本学の定める「社会連携・社会貢献に関する基本方針」に基づき、大学と社会が協働して、課題を発見・共有し、新たな価値を生み出す活動を促進するための制度として設けられ、今回が初年度の取り組みとなります。

このニュースターは「SEED(シード)：種子」という名前にしました。これは、社会連携のプロジェクトの種を、学生・大学・そして社会の皆様とで大切に育み、大きな花を咲かせられるように、そして、このプロジェクトが、「問題解決能力」を備えた人材の育成の「種まき」となるように、そんな想いをこめています。

今後は本ニュースターで「駒大生社会連携プロジェクト」をはじめ、本学の社会連携に関する学生の活動を伝えていきます。

令和4年度「駒大生社会連携プロジェクト」※募集要領抜粋

1. 申請資格

本学専任教職員1名以上を代表とした本学学生のプロジェクトチーム

2. 募集テーマ

(テーマ1) 世田谷区部門

・世田谷区内の団体・企業・他大学等と連携して行う社会参加活動を中心としたプロジェクト

(テーマ2) 産官学連携部門

・世田谷区内外を除く団体または企業等と連携して行う社会参加活動を中心としたプロジェクト

(テーマ3) SDGs部門

・SDGsの17のテーマに特化し、それを前面に打ち出す取り組みを行うプロジェクト

3. 選考方法

採択および支援金額は、①社会連携課による書類審査、②外部審査委員による申請書の審査、③駒澤大学社会連携委員会での審議を経て、④学長により決定されます。

4. 採択プロジェクトへの支援金

1団体への支援金の上限金額：450,000円

5. 申請期間：令和4年4月11日(月)～令和4年5月20日(金)

令和4年度 採択プロジェクトについて

本制度初年度の今年度は、7件の申請がありました。

(世田谷区部門：3件、産官学連携部門：3件、SDGs部門：1件)

各プロジェクトは、事務局による書類審査、外部審査員による評価・選考、そして社会連携委員会での審議を経て、各務洋子学長より、この度、申請のあった7件を「令和4年度 駒大生社会連携プロジェクト」として採択することが承認されました。

6月17日（金）には、
令和4年度「駒大生社会連携プロジェクト」
採択決定通知書交付式が行われました。



「令和4年度 駒大生社会連携プロジェクト」採択一覧 (敬称略・届出順)

世田谷区部門：3件

	学部	学科	教員氏名	プロジェクト	支援金
1	経済学部	現代応用経済学科	松本 典子	動画制作を通じた「せたがやの居場所」発信 プロジェクト	450,000円
2	経済学部	現代応用経済学科	長山 宗広	P B L 型授業のモデル構築 — 世田谷発の起業家教育 —	450,000円
3	文学部	社会学科 社会学専攻	李 妍焱	地域プロジェクトによる市民育ち — 用賀と深沢における参加型調査研究 —	400,000円

産官学連携部門：3件

	学部	学科	教員氏名	プロジェクト	支援金
1	経済学部	現代応用経済学科	吉田 健太郎	産学連携による新商品開発と 新たな販路開拓の実践プロジェクト - 地場産業の新商品開発と中小企業の海外販路開拓の事例 -	450,000円
2	経済学部	現代応用経済学科	大前 智文	社会連携ゼミ交流会	450,000円
3	法学部	政治学科	三竹 直哉	難民を知り、共生へ ～クルド人に学ぶ～	155,080円

SDGs部門：1件

	学部	学科	教員氏名	プロジェクト	支援金
1	経済学部	現代応用経済学科	山田 雅俊	新入生セミナー×現代応用経済学科ラボラトリ コラボ企画 「現応ラボ 社会連携・SDGs活動セミナー」(仮) 「現応ラボ 社会連携・SDGs交流会」(仮)	450,000円

本年度は、上記の7プロジェクトの活動をお知らせしていきます。
2023年2月中旬に7プロジェクトの成果報告会を予定しています。